

第22回 全国街路事業 コンクール応募資料

平成22年2月

応募者名：北海道 旭川土木現業所

事業の名称：旭川圏都市計画道路事業

3・3・8金星橋通

実施都市名：北海道 旭川市

事業目的

当路線は、国道40号と国道39号、さらには都市圏北部地域と市内中心部を接続する幹線街路であり、都市活動を支える重要な道路として位置づけられている路線である。

金星橋の架換工事により、人や物の流れを円滑にし、交通渋滞の緩和及び快適な歩行者自転車空間の確保に寄与するものである。

事業概要

事業名：旭川圏都市計画道路事業 3・3・8金星橋通

路線名：一般道道 新旭川停車場線

事業箇所：旭川市大町2条1丁目～金星町3丁目

事業延長：500m

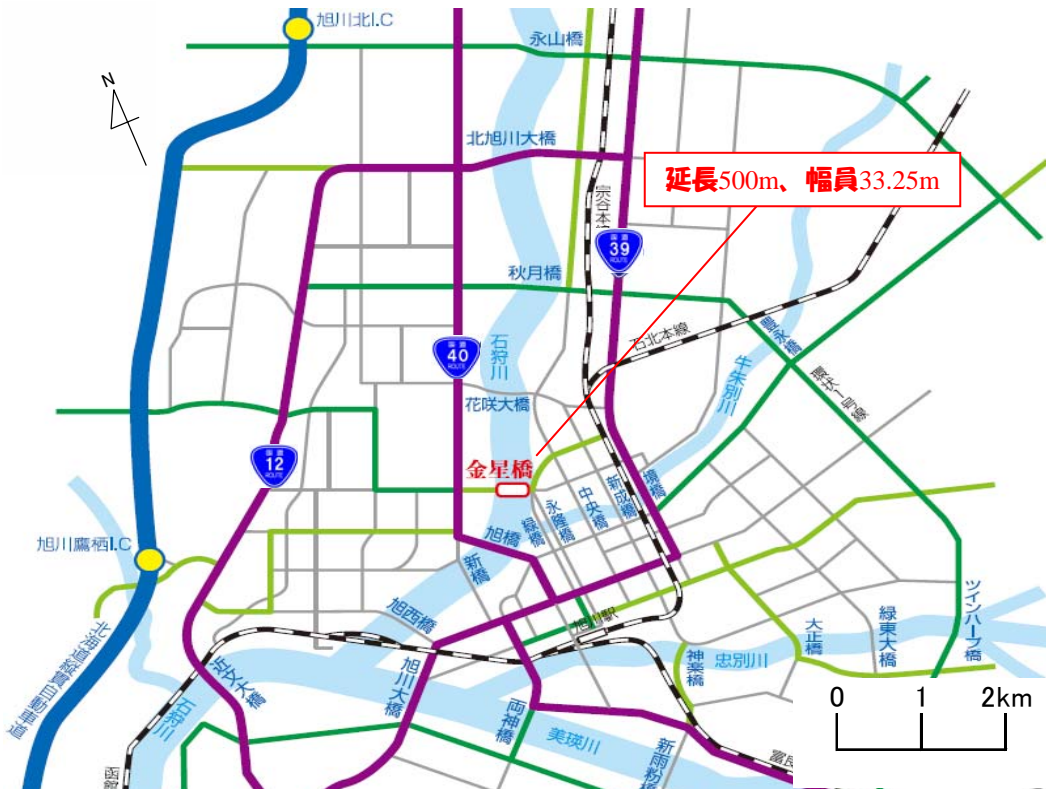
幅員：33.25m～50.25m

総事業費：約84億円

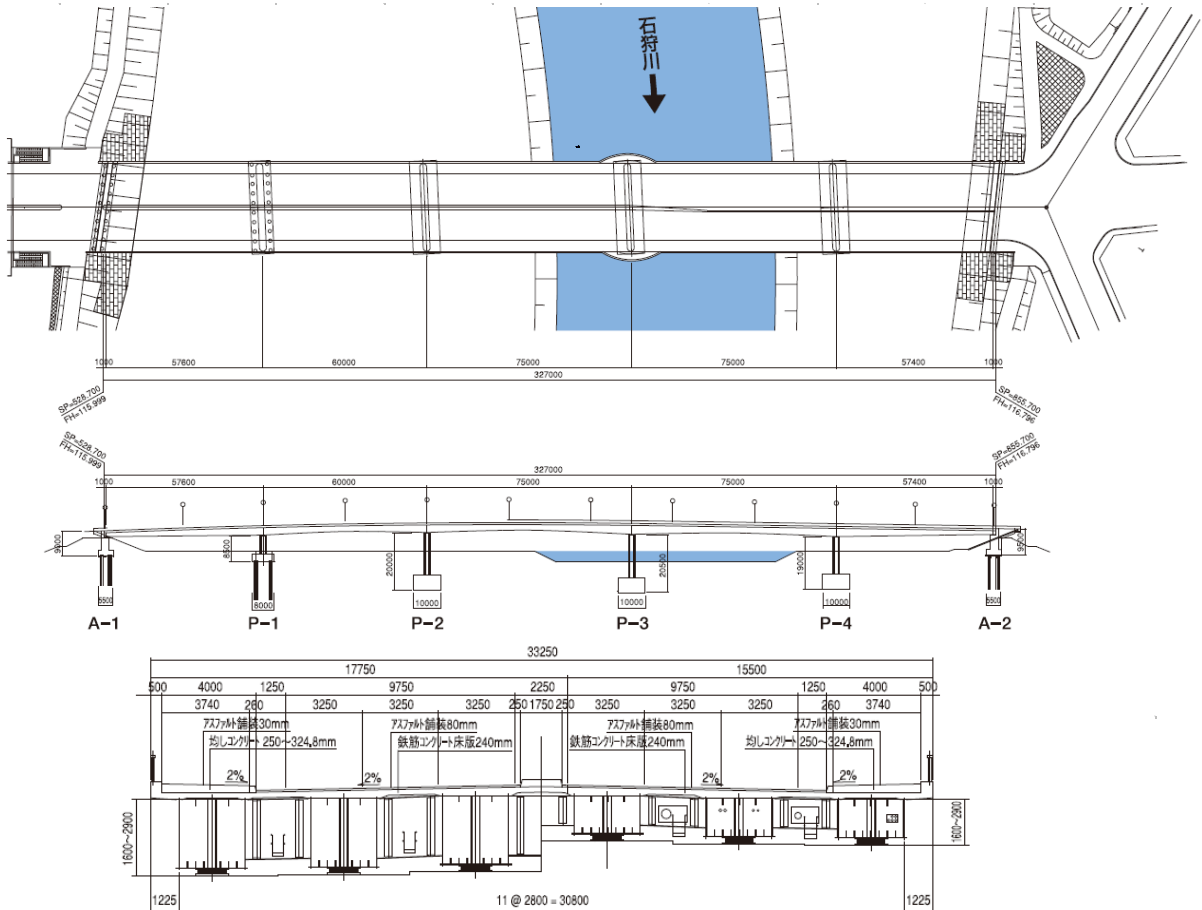
事業期間：平成12年度～平成20年度

本事業は、延長500mを整備したものであり、金星橋の上部工は5径間連続鋼箱桁橋、下部工は逆T式橋台及び壁式橋脚を選定した。また、現橋が分離橋であることを利用し、現況交通を確保したまま、幅員33.25mの橋梁を半断面ずつ施工した。

事業位置図



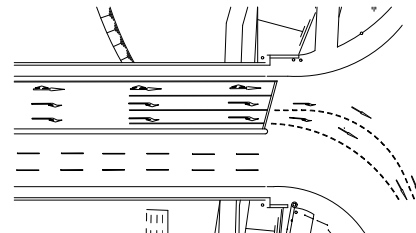
全体図(平面図・側面図・横断図)



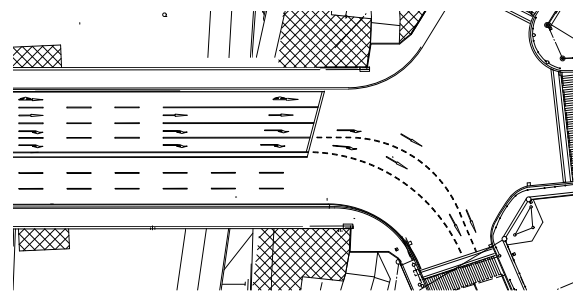
3・3・8金星橋通の整備効果アピール資料



整備前：3車線



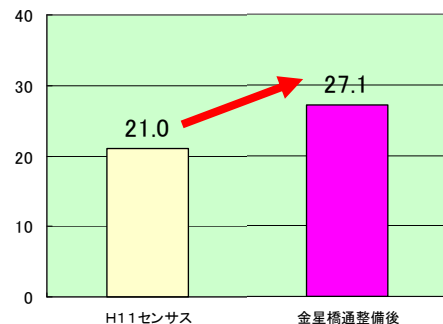
整備後：4車線



○事業概要

事業名：旭川圏都市計画道路事業
3・3・8金星橋通
路線名：一般道道 新旭川停車場線
事業箇所：旭川市大町2条1丁目
～金星町3丁目
事業延長：500m
幅員：33.25m～50.25m
総事業費：8,400百万円
事業期間：H12～H20年度

旅行速度 (km/h)



「整備効果」

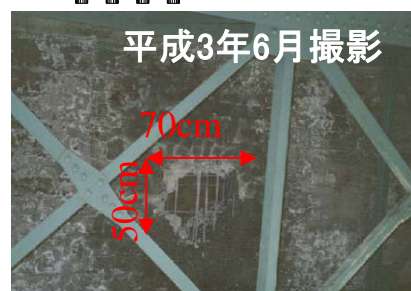
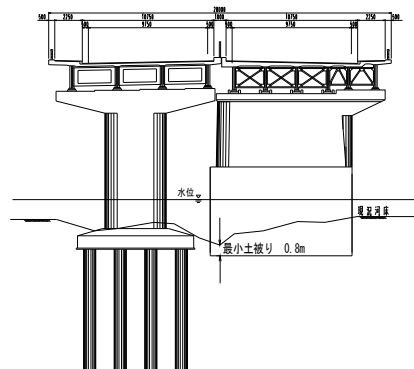
- ① 老朽化対策：約50年経過し、老朽化が進んだ橋梁の架替えにより、耐震性や耐久性の向上と、安全・安心な交通環境を形成することができる。
- ② 橋脚への対策：旧橋の橋脚フーチング土被りは、0.8mと不安定な状況が判明した。橋梁架換えにより土被り3.0mを確保し、橋脚の安定性が向上する。
- ③ 歩道幅員の狭小対策：歩行者・自転車(1,290人/12h:H11センサス)の交通量に対し、現況歩道幅員2.25mを4.0mへ拡幅したことにより安全な歩行空間を確保する。
- ④ 交差点の渋滞対策：3車線(右折+右折+直進左折)の交差点部を4車線(右折+右折+直進+直進左折)に拡幅したため、渋滞が緩和される。

事業前写真

平成10年7月撮影



河床洗堀により橋脚基礎の根入れ不足



老朽化による床版の剥落

金星橋の歴史

初代(木橋)昭和9年竣工



二代目 昭和32年竣工



三代目(拡幅) 昭和47年竣工



平成10年7月撮影



歩道幅員狭小 W=2.25m

平成10年7月撮影



直進左折レーンの交通渋滞

事業後写真

平成21年11月撮影



平成21年12月撮影



平成21年8月撮影



平成21年8月撮影



平成21年11月撮影



平成21年12月撮影

